

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ペリー放課後 真庭		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様で創造的な活動プログラムの提供	クッキングや自由活動など、お子様が主体的に楽しめるプログラムを工夫し、豊かな体験を提供しています。	お子様の興味関心に合わせ、さらに内容を深化させた新しい体験型プログラムを検討・実施します。
2	一人ひとりに寄り添った個別支援計画の策定	お子様と保護者のニーズを丁寧に分析し、具体的に適切な支援目標を設定することで満足度の高い支援を行っています。	定期的なアセスメントを強化し、成長に合わせたより精度の高い支援計画への更新を迅速に行います。
3	清潔で心地よい活動環境の維持管理	整理整頓と清掃を徹底し、お子様が安全かつ衛生的に過ごせる空間づくりをスタッフ全員で意識しています。	障害特性に応じた構造化をさらに進め、お子様がより見通しを持って活動できる環境設定を追求します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの異動・交代時の不安解消	スタッフの入れ替わりがある際、お子様や保護者様へ環境変化による不安を与えてしまうことがあります。	丁寧な引継ぎ期間を設け、SNS等も活用して新体制を早めに周知することで安心感の維持に努めます。
2	地域交流や他団体との活動機会の確保	感染症対策や学校等との調整の難しさから、地域の子ども達との交流機会が十分とは言えない現状があります。	近隣の児童館や地域ボランティア等との連携を再検討し、安全に配慮した交流イベントを企画します。
3	保護者同士の交流支援の充実	個別支援は充実していますが、保護者同士が悩みや情報を共有し合える場の提供が不足しています。	参加しやすい形式の保護者会や情報交換会を検討し、保護者間のネットワーク作りを支援します。

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	マルコポーロ放課後 真庭		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフに対する高い信頼感と安心感	職員の入れ替わりがあっても、お子様がどのスタッフにも安心感を持って通所できていることが強みです。	どのスタッフが対応しても同質の高い支援ができるよう、内部研修を通じたスキル平準化を継続します。
2	整理整頓による安全な活動スペースの確保	限られたスペースを有効に使うため、徹底した整理整頓を行い、安全な活動動線を常に確保しています。	備品の定位置化や視覚的なガイドを強化し、お子様が自分自身で片付けやすい環境をより整えます。
3	丁寧な意思疎通と情報提供の徹底	送迎時やSNS等を活用し、日々の様子を丁寧に伝えることで保護者様との信頼関係構築に努めています。	活動の様子をより多角的に伝えられるよう、写真やエピソードを添えた発信の質をさらに高めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集中を要する活動時(宿題等)の環境配慮	遊びと学習のスペースが近接しているため、お子様によっては気が散りやすい場面が生じています。	パーティションの活用や座席配置の工夫により、周囲の視線を遮り集中できる「学習ゾーン」を強化します。
2	専門的な個室(タイムアウト用)の不在	専用の個室がないため、お子様のパニック時やクールダウンが必要な際の対応に工夫が必要です。	カフェ風の隠れ家スペースやテントの導入など、心理的に落ち着ける「安心空間」を室内に創出します。
3	保護者会における交流のしやすさの向上	保護者参加の企画はあるものの、保護者同士が互いに顔と名前を認識しづらいという声があります。	行事等で自己紹介の機会を設けたり、名札を工夫するなど、保護者様が交流しやすい雰囲気作りを行います。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ベリー放課後 真庭
------	-----------

公表日 2026年3月8日

利用児童

数 2026年3月1日 30人

回収数

25家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	0	1	・クッキングをしたり、自由に活動できたり等している為	見える化を進めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	4	0	1	・来年1月からとても懐いていたIさんが代わられると聞いています送迎だけでもかわつてもらうことはできないでしょうか？4月から色々あってやっと落ち着いてきたのでまた環境が変わるのが1番怖いです	生徒に不利益がないよう進めています
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3	1	2		見える化を進めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22	2	0	1		見える化を進めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	3	0	1		SNSでの情報発信や保護者様へ直接お伝えするなど分かりやすく改善いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	4	0	0		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	20	4	0	1		見える化を進めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	3	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	4	0	1		見える化を進めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14	4	3	4		各種イベントに参加するなど交流を促進しております
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	2	6		見える化を進めています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	4	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	5	2	4		説明会だけでなく、保護者懇親会のようなイベントも計画していきます
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	0	1		見える化を進めています。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	1	1		見える化を進めています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	0	3		見える化を進めています。
22 個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	0	2		見える化を進めています。	
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	5		見える化を進めています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	0	8		見える化を進めています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	3		見える化を進めています。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2	0	6		見える化を進めています。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	3	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	4	0	4		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	3	0	1		

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 マルコボーロ放課後 真庭

公表日 2026年3月8日

利用児童

数 2026年3月1日 33人

回収数

27家庭

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	5	1	4	・職員の方がどれだけおられるのかわからない、入れ替わりが激しいのでわからない ・その日の利用人数とスタッフの方の人数がわからないのでどちらともいえないです。	・制度に沿った配置をしています。生徒とスタッフの交流を促進させるため教室変更を多めにしておりましたが、保護者様への説明が不十分でした。今後情報発信を適切に行っていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2	1	4	・送迎をお願いしているので、教室に行く機会がありません。 ・遊んでいる友だちが見える場所で宿題に取り組むことは、わが子には気が散りやすい環境ですが、それに慣れることも大事だと思っています。	見える化を進めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22	1	0	4	・送迎をお願いしているので、教室に行く機会がありません。 ・送迎をお願いしているので、教室に行く機会がありません。	見える化を進めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	1	4	・特性の軽い子が多いイメージです。我が子は特性が強いので、どこまで理解してもらえているか… ・特性のある子どもたちの理解はともあると思っています。専門性については、どういったところが専門的であるか何と比較したらいいかかわからないのと、普段の関わりの様子を最近見られていないので「わからない」としました	SNSでの情報発信や保護者様へ直接お伝えするなど分かりやすく改善いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	3	0	2		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	24	2	0	1	・いつもよく話を聞いてくださって、頼りにしていますし、家庭での支援を考えるきっかけにもなっていると思っています	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	1	3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	2	4	6	・最近の様子をあまり把握できていません、すみません	各種イベントに参加するなど交流を促進しております
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	3	0	4	・ピタゴラスグループが目指す支援の方向性ととも情報提供がなされていると思います	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2	1	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	0	2	・いつも支えにさせてもらっています	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	3		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4	2	4	・年に数回、保護者も参加できる企画がその役を担っていると思います。もうすこし他の保護者さんと関わりやすかったり、誰の保護者さんなのかかわかったら話しやすいなあと思います。(私が人見知りなのですみません)	説明会だけではなく、保護者懇親会のようなイベントも計画していきます
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	0	2		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	4	0	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	2	0	2		
22 個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1	0	2			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2	0	4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	4	0	0	・スタッフさんの入れ替わりがたくさんありましたが、子どもはどのスタッフさんにも安心感を持っていて、通所を楽しみにしています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	4	1	3	・言葉には出せませんが嫌がらず行けるので、楽しい場所になっていると思います。 ・行けば楽しんで帰ってくるが、そもそも家が好きなので通所自体がしぶしぶになっているところがあります。（マルコポーロ自体が嫌いなわけではないと思います）	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	0	1	・今年度からの利用なので、どこまでお願いできるのか、どこまで理解してもらっているのかまだわからないことはありますが、毎日嫌がらず行ける場所になっているので、助けられています。 ・あまり利用していないのでわからない項目が多く、すみません。 ・本人の年齢が上がるとともに利用頻度が少なくなってきましたが、相談できる施設と繋がっておきたいという保護者の思いがあって利用継続状態を保たせてもらっていたところが大きいにあります。長年にわたり、日常を見たらうで支援をしてもらえる施設があって本当に心強く、ここまで育ててくれることができ	今後も生徒だけではなく保護者様へ適切に情報をお伝えする機会をもうけお子様より良い人生を歩めるよう支援を進めています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ペリー放課後 真庭				公表日	2026年3月8日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		今後検討していきます	
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0				

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		今後検討していきます
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1		適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		マルコポーロ放課後 真庭				公表日	2026年3月8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	スペースを確保するために整理整頓している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	出来る限り出勤可能日には協力したいと思っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	バリアフリーに配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	利用後の後片付けを徹底している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	個室がないので、タイムアウト等の必要が生じたら、工夫が必要だと思う。	キッチンエリアを個室的に使うなど工夫を行っています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	連絡や相談でコミュニケーションを密にとっている。	スタッフ間ミーティングを活性化し情報格差が起きないようにしていきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	自身が特に関わっていない。	スタッフ間ミーティングを活性化し情報格差が起きないようにしていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	業務終了後に必ず反省や振り返りを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	自身があまり関わっていない。	今後検討していきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	まだ参加出来ていない。	職員の研修受講を推奨しています。社内研修等を計画していきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	利用内容を明確にし、日々新しい取り組みをされている様に感じる。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	利用者の特徴をよく理解した支援が行われている。	モニタリング、アセスメントの質改善をすすめていきます	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	車椅子で意思表示が困難な利用者にも、最善の利益を提供できる機配慮されている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	サービス計画を見たことがない。	個別支援計画は作成していますが全スタッフへの共有を促進していきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	あまり実感がない。	モニタリング、アセスメントの質改善をすすめていきます	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	概ねそう感じる。具体的な支援計画は見たことがない。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々の支援の中で、相談したり、話し合っ		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	決めたりする機会があると思う。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	メリハリのある時間配分になっていると思う。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	自然に事前にミーティングが行えている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終了後にも話し合いの場がある。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	細かく日誌等に記録し、また、記録の作業も重要視されていると思う。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	自身が直接モニタリングに関わることはないが、他者が行われているところを見たことがある。		

関係機関 や保護者との 連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	4つの基本活動を具体的に知らない。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	子どもの意思を尊重して支援されていると思う。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	専門知識のある人が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	具体的に内容は知らない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	適切に行えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	具体的な関わりは分からない。	共有の仕方について検討していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	実際に立ち合ったことがない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	活動を知らない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	利用したり交流がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	参加したことがない。	部会長を務めるなど積極参加していますが、全社員への共有ができていませんでした。改善します。
保護者への 説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者と関わる事が少ない。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	行っていない。	今後検討していきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	自身に関わる機会があまりない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	その様に思う。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	その様に思う。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	関わる機会が少ない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	関わる機会が少ない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があれば対処しようと努力する。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	発信していない。	SNSでの発信をしています。周知できるよう努力します
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	情報の扱いに気をつけている。	
非常	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	よく話を聞いて、意思を尊重している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	社会福祉大会等参加している。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	避難訓練等で確認している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	マニュアルを確認したい。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	てんかんの子どもがいるという情報を知らない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	医師の指示を聞いたことがないが、好き嫌いによる食の嗜好には配慮している。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画をみたことがない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	家族に連絡した事がない。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	職員間で振り返りを行なっている。	適宜対応していますが全社員への共有ができていませんでした。改善します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を受けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	実際には身体拘束をした事がない。	